配付番号	
文書番号	HYC100
制定日	2012/04/01
版管理番号	2.1
改訂日	2023/04/28
□管理版　□非管理版	

npoHYC クラブレース運営マニュアル

新春レガッタ

承認	作成
犬飼	レース委員会

改版履歴

版	発行(改訂)日	理由及び内容	担当者	責任者
1.0	2012/04/01	初版作成	真野、土居	犬飼
2.0	2022/03/01	全面的見直し （担当、組織、諸資料、RRS 対応）	委員、土居	犬飼
2.1	2023/04/28	運営艇に装備の信号用ポールについて見直し	委員、土居	犬飼

NPO 法人　葉山ヨットクラブ　レース関連委員 構成表

	氏名	所属チーム
（レース委員長）	犬飼一通	牛若丸 Ⅴ
（レース委員）	田口藤孝	TRITON XV
（レース委員）	鍛地俊介	FIRST SPIRIT Ⅱ
（レース委員）	井上竜一	七福神
（レース委員）	森田光一	WAVYHOT
（レース委員）	西義久	ALBATROSS
（顧問）	土居昭昌	寿限無
（プロテスト委員長）	三輪眞言	東京海上チーム

内容

1. 適用範囲 5
2. 引用規則 5
3. 用語及び定義 5
4. 運営組織 6
4.1. 担当コミッティ 6
4.2. コミッティ担当事項 6
5. 事前準備・レース関係 6
5.1. 本部船予約 6
5.2. レース必要備品 6
5.3. レース運営ドキュメントセット 7
6. 艇長会議　　レース当日 7
6.1. 事前アナウンス 7
6.2. 艇長会議 7
6.3. 艇種変更等 8
6.4. 本部船関係・レース当日 8
6.5. 成績計算と表彰式準備 9
6.6. 表彰ﾊﾟｰﾃｨ準備と運営 10
6.7. 後日の作業 10
７．別紙一覧 11

1.適用範囲

1.1.全般：本マニュアルは、NPO 葉山ヨットクラブのクラブレースを運営する目的に、セーリング競技規則に基づいて、レースの運営に関わる事項を定める。

1.2.目的：本マニュアルは、葉山ヨットクラブのクラブレース全般について規定する文書であり、クラブ内においては、本マニュアルをクラブ員への伝達や教育に用いることによって、クラブ員がクラブレースを理解し、実行することを確実にするとともに、第三者に対して、レース運営の適合性を示すことを目的とする。

1.3.行動規範：本マニュアルは、葉山ヨットクラブのクラブレース取組について規定する文書であり、セーリング競技規則に準拠し、JSAF 特別会員としての行動規範とする。

1.4.適用範囲と公示
葉山ヨットクラブが主催する全てのクラブレースに適用する。
月例レガッタ及び個別レースに於ける公示は別途定める。

2.引用規則

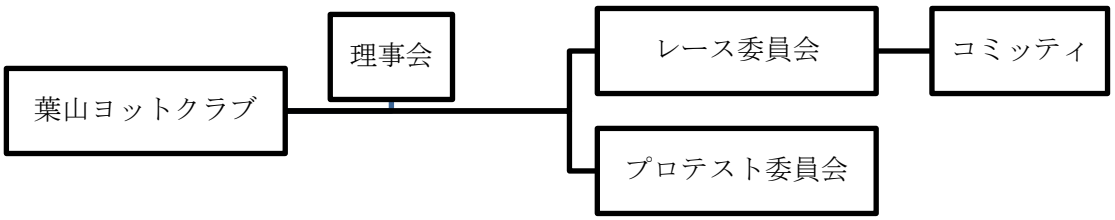
本マニュアルは、セーリング競技規則 RRS2021-2024 に準拠する。

3.用語及び定義

レースに関わる用語はセーリング競技規則 RRS2021-2024 に準拠する。
NPO 葉山ヨットクラブをクラブ、HYC と略称する。
レースの公示及び帆走指示書に於ける[NP]、[DP]表記
[NP]の表記は、艇は、他艇の規則違反に対し抗議の根拠とはならないことを意味する。これは、規則 60.1(a)を変更している。(RRS 付則 KG レース公示ガイド)
[DP]の表記は、その規則違反に対するペナルティーを、プロテスト委員会の裁量により失格より軽減することができることを意味する。(RRS 序文)

4. 運営組織

クラブの会長はレース委員長及びプロテスト委員長を任命する。レース委員長はクラブの理事から選出する。クラブ員からレース委員を選出する。レースはレース委員会が運営する。レース委員会は各レースの運営担当チームを定める。これを担当コミッティと称する。



4.1. 担当コミッティ

１）レース委員会が定めた月例レースは、レース委員長から委託を受けたコミッティ（艇・チーム単位）が実行･運営する。

２）レース委員会とコミッティの役割分担は**別紙 1「レース委員会・コミッティ役割分担」**の通りとする。

３）担当コミッティ割当の年間スケジュールはレース委員会が年初に決定する。担当コミッティは割り当てられた日に都合がつかない場合等は、事前にレース委員長と担当月変更等を打ち合わせる。

4.2. コミッティ担当事項

コミッティが事前に、あるいは当日および後日行う基本的な事項は次のとおりである。

１）事前準備･レース関係（機材確認）

２）艇長会議･レース当日（主催・説明）

３）本部船関係･レース当日（コース設定、スタート、フィニッシュ、成績記録、監視）

４）レース委員長に確認をとったゴール記録をレース委員会に提出

５）（表彰式・表彰パーティ実施の場合）成績計算と表彰状の作成支援

（表彰式・表彰パーティ不実施の場合）成績計算と表彰状作成はレース委員会で実施

６）（表彰式・表彰パーティ実施の場合）表彰パーティ準備と運営

７）後日の作業

5. 事前準備･レース関係

5.1. 本部船予約

レース委員会は本部運営艇としてあらかじめリビエラ艇を年間を通じて利用予約を行っておく。

5.2. レース必要備品

１）マーク、ブイ、ポール、フラッグ、フォグホーン、およびその他レースに必要な備品は、葉山港船具倉庫に保管してあるので、以下の「レース運営準備品リストに沿って、事前に点検・確認する。

２）船具保管庫の鍵はクラブルームに保管してある。

３）問題があれば、事前にレース委員の担当に連絡・対処する

別紙２「レース運営準備品リスト＃１：必要備品格納場所および明細一覧」

別紙３「レース運営準備品リスト＃２：フラッグ一覧」

5.3. レース運営ドキュメントセット

・レース運営に必要な文書の基本フォームは、あらかじめレース委員会で作成し、HYC 事務室内専用 PC にファイルの形で保存しておく。

・コミッティは、前回レース終了後速やかに、あるいは遅くとも担当レース日の３週間前には内容が担当レースにとって的確なものであるか、あるいは利用方法を点検･確認の上、必要があればレース委員会と相談の上必要があれば修正を加えておく。

・レース運営ドキュメント基本フォーム（レース７点セット）は次の通り

１）**HYC クラブレース運営マニュアル：　　（本書）**

２）**帆走指示書:　　（見本　別紙４帆走指示書）**

①　　担当コミッティの海上・陸上連絡用携帯電話番号等を記入しておく。

②　　当日配布用として２０部程度のプリントを準備する。

③　　なお、葉山・初島、フレンドシップの 2 レースについては、これらとは別に用意する。

３）TCF の確認

①　　参加艇のうち、HYC レースの TCF を持たない艇に対しては、レース委員長に相談の上、TCF を決定してレース委員会に報告する。

＜別紙５、６、７、１０は作業用エクセルブックとして**別紙　５６７**シートに格納してある＞

４）出艇申告・パーテイ受付記録表　　**（見本　別紙５）**

５）ゴール記録記入用紙　　**（見本　別紙６）**

６）レガッタ清算書　　**（見本　別紙７）**

７）表彰状関係セットおよび印刷用上質紙用紙類　　**（見本　別紙８表彰状）**

用紙類が不足している時はレース委員に連絡する。

6. 艇長会議　　レース当日

6.1. 事前アナウンス

艇長会議開催にあたり、１０分前までには予告構内アナウンスを行う。

6.2. 艇長会議

次の事項を行う。

１）出艇申告受付及び出艇料受領

・出艇申告・パーテイ受付記録表への記録　（筆記用具を事前に用意する）

・出艇料は　賛助会員艇３０００円、非賛助会員艇４０００円

・受付時、艇のレーティングに変更ある艇が無いか確認する（新艇等）。

２）パーティー参加人数を確認

３）帆走指示書とコース設定の説明

４）時計合せ
５）コミッティの海上・陸上連絡用携帯電話番号等を相互に確認
6.3.艇種変更等
新規参加艇あるいはレーティングに変更を及ぼす可能性がある艇がある場合はレース委員に報告し、レーティング等について対処を打ち合わせる。
6.4.本部船関係･レース当日
１）備品の確認：
①　　備品の有無と数量は**別紙２「レース運営準備品リスト＃１：必要備品格納場所および明細一覧」**に沿って、必ず陸上で事前に確認する
②　　動作確認
・フォグフォンは、フォグフォンの担当者が、陸上にて最低一度は音を出して、ガスの残量・フォンの不具合さらにその取扱いを確認する。
・ガスが少ないため音が良く出ない場合は、予備のカートリッジに交換する。
・もし、フォンに不具合がある場合は、予備のフォンを使用し、海上で必要な時点に確実に音が出るようにする。
２）備品等の本部船への積込み：
①　　マーク、ブイ、ポール等：　必要であれば空気を入れるためのブロワーを管理事務所に申し出て借用する。
②　　レース運営に必要な備品類
③　　レース記録用バインダー、筆記用具、記録用紙等
④　　必要に応じ乗員の飲物・食事等
３）本部船での作業：　　２名以上の要員を乗艇させ、次のようなマーク設定及び記録作業にあたる。
①　　スタートまで
・マーク打ちとスタートライン設定
　○　現在の風軸に対して　スクエアに、安全に、設定することが推奨される
　○　スタートラインの長さ
　　出艇数　×　艇の長さ　×　1.5　　艇の長さを便宜上　10 メートルとし
　　出艇数　×　10　×　1.5　を目安とする
・フラグ掲載ポール設置　掲揚には**別紙２「レース運営準備品リスト＃１：必要備品格納場所および明細一覧」の２項「信号旗ポール及び信号旗」**を参照
・コース設定については、必要があれば適宜レース委員長（あるいはその指名を受けたレース委員）と連絡して決める。
②　　スタートおよびレース中
・スタート：　　帆走指示書記載の所作
・注意：スタート前４分以降はレース中、機走出来ない
・スタート後のスタートライン消滅時刻：　スタート後１０分を原則とし、日の丸旗降下、変更等があれば当日の艇長会議で伝達する。

・スタートしてからフィニッシュまで：　　行動は自由であるが、レース艇に注意して行動する。また、気象・海象の変化に対応出来るよう、またコース短縮・変更、レース中止等に対応できるようにしておくこと。
・レースの状況：　　見守ること。
③　　フィニッシュ
・フィニッシュライン設定
出艇にかかわらずラインの長さは 50 メートル程度とする
ラインの角度は　風軸に対してスクエアに設定
・記録用紙にフィニッシュ時刻と順位を記録する。
・本部船とアウターリミットマークを見通したラインにハルがフィニッシュラインを切った時をフィニッシュとし、フォグフォーンを鳴らす。
・一人が計時して艇名（セール番号）とフィニッシュ時刻を読み上げ、もう一人が記録用紙に記入するのが望ましい。
・記録した時刻と順位は、陸上の成績管理担当者に早めに電話等で連絡する
・全艇がフィニッシュ又はレース終了したのを判断してマークを引き上げる。
・二レースある場合は、始めのレースが終わり次第次のレースの準備にかかるが、スタートラインの引き直しの有無を判断する。
４）レース終了後の整備保管：　　必要備品等は、必要な水洗い等を行ったうえ、元の場所に戻す。紛失、不具合があればその旨を、また、収納を完了したらレース委員に報告する。
５）プロテスト受付と処理
①　　所定の審問要求書を締切時間内にプロテスト委員会に提出しなければならない。
別紙１０「審問要求書」
②　　プロテスト締切時刻は最終艇のフィニッシュから６０分とする。
③　　プロテストに関する審問及び裁定はプロテスト委員会が行う。
6.5. 成績計算と表彰式準備
（表彰式・表彰パーティ実施の場合）
１）成績計算（別紙９成績計算について）
①　　レース委員長に確認をとったゴール記録をレース委員会に提出
②　　成績計算と表彰状作成はレース委員会が実施するが、クラブルーム内において、その支援を行う。
以上はレース委員（計算担当）がクラブルーム設置の PC で行う。
注：**計算担当：西義久（アルバトロスチーム）**
３）表彰準備：
・表彰は、１位～3 位、ファーストホーム、ラッキーセブン、ブービーに対し行う。
・表彰には賞状と賞品を授与する。
・賞品は次の通りとする
1 位～3 位、ファーストホーム：　表彰グラス優勝３ヶ、２位２ヶ、３位・FH 各１ヶ
ラッキーセブン、ブービー：　　ワイン各１本

なお、表彰グラスはレース委員会が、またラッキーセブン及びブービー用ワインはコミッティが事前に準備する。

（表彰式・表彰パーティ不実施の場合）

１）　　レース委員長に確認をとったゴール記録をレース委員会に提出する。

（成績計算と表彰状はレース委員会が実施する）

6.6.表彰ﾊﾟｰﾃｨ準備と運営

１）事前準備：

①　　パーティ会場：　　レース委員会があらかじめ利用予約をしておく。

②　　パーティ用飲食物等手配

・紙皿，紙コップ，はし，飲み物，つまみ，後片付け用のごみ袋も用意する。

・表彰パーティー用に準備する飲食物および関連用品は予算 35,000 円を目安とする。

③　　表彰用ワイン２本

２）表彰ﾊﾟｰﾃｨ会場設営

①　　当日、管理事務所に使用料を支払ったうえ、会場の鍵を借りておく。

②　　使用時間は 14:00～17:00 までとする。

③　　表彰ﾊﾟｰﾃｨへの参加費は１人 1000 円とする。

④　　会場の設定、受付、会費の徴収等を行う。

⑤　　参加者の貼り付け式名札ケース、名札用紙、サインペン等を保管してあるので、十分な量があるかどうかを事前に点検しておく。

⑥　　当日は参加者に艇名、氏名を記入し着用してもらう。

３）表彰式

①　　司会、成績発表はコミッティで行う。

②　　表彰、レース講評等はレース委員長が行う。

４）後片付け

①　　全て終了後、鍵を管理事務所に返却する。

②　　遺失物等があれば管理事務所に届けておく。

６）　　次回コミッティへの引き継ぎ

①　　パーティ修了時頃をめどに、次回コミッティへの引き継ぎを行う。

②　　引き継ぎはレース委員の立会のもとに行う。

6.7.後日の作業

１）レース精算書提出

①　　レース関係会計は月例理事会への報告事項であるので、レース委員会で提供するレース精算書に記入、領収書等を添付し、１週間以内にレース委員長まで提出する。

②　　提出の方法は領収書等書類は郵送とする。

③　　**精算代金は葉山ヨットクラブ口座（下記参照）振込先へ振込む。**

振込先、郵送先、連絡先等は次の通り。

精算書　送付先：〒240-0112　神奈川県三浦郡葉山町堀内５０番地
葉山港港湾管理事務所内 葉山ヨットクラブ　レース委員会宛

精算代金　振込先：みずほ銀行 湘南台支店 口座番号:普通 1078991
**　NPO 法人葉山ヨットクラブ**

精算関係　照会先
財務委員長　　桑原健二　E-Mail：　zaimu@hayamayc.jp
レース委員長　　犬飼一通　E-Mail：　ponton@firstmarine.co.jp

７．別紙一覧
別紙 1「レース委員会・コミッティ役割分担」
別紙 2「レース運営準備品リスト＃１：必要備品格納場所および明細一覧」
別紙 3「レース運営準備品リスト＃２：フラッグ一覧」
別紙 4 帆走指示書見本（コミッティ用は WORD で提供される）
別紙 56710（本紙には含まれない。コミッティ用 EXCEL ワークシートで提供される）
別紙 8 表彰状見本（コミッティ用は別途提供される）
別紙 9 成績計算について
別紙 10 審問要求書　プロテストフォーム（コミッティ用 EXCEL ワークシートで提供される）
別紙 11 レースコース参考図

別紙 1.　　「レース委員会・コミッティ役割分担」2022/1/31

	レース委員会	主査	コミッティ
事前	年間スケジュール作成	犬飼	レース運営要領について学習
	コミッティの割当	井上	運営艇要員、陸上要員確保
	表彰式会場予約	犬飼	懇親会飲料食品手配
	リビエラ運営艇手配	犬飼	
	レース備品整備	鍛地	レース備品確認
	運営用各種書類準備、TCF 確認	西・田口	
	上記コミッテ責任者へ送付	井上	
			運営用各種書類入手
			帆走指示書準備、受付表準備
	又は PC 上に準備		
	・TCF 受付変更	犬飼	
	・成績計算書類準備（レース委員用）	田口・西	レース委員会で実施
	・成績計算（レース委員会）	西	
	・PC の用紙、インク等備品確認	鍛地	
	コミッテの準備状況確認	井上	
当日	開催確認		開催確認
	コース設定指導（コース、ライン等）	三輪	受付、会費
	成績計算	田口・西	艇長会議主催
	順位決定	犬飼・三輪	運営艇にレース備品持ち込み
	成績表彰（授与等）	犬飼・三輪	マーク打ち、スタートライン設定
	講評	犬飼・三輪	スタート、フィニッシュ記録、監視
			マーク引き揚げ、帰港
			備品引き揚げ、点検、格納
			成績書、表彰状印刷
			会場設営、懇親会主催
			後始末
			ゴール記録を採り、レース委員長の確認後、レース委員会に提出
			（表彰式・表彰パーティ実施の場合）
			成績計算、表彰状作成支援
事後	清算（決算、会計）確認	犬飼	清算（決算、会計）
	理事会報告	犬飼	

2023/04/25

別紙２「レース運営準備品リスト＃１：必要備品格納場所および明細一覧」

1．葉山港船具倉庫内ロッカー:

No.131 および No.134 格納備品 （ロッカーキーはクラブルームに保管）

マーク、ブイ等:　マークブイの空気入れは倉庫隣、工作室のプロアーを使用。

① レガッタマークブイ(黄色)　　2 個

② 予備ロープ

レース備品入りクリアボックス格納品

	品名	数量	備考
1	拡声器	1	
2	フォグホーン	2	
3	フォグホーンスペア	1	H23/18 補充
4	布バケツ(赤)	1	
5	メジヤー	1	
6	ビニールテープ	5	赤緑ストライブ、白、赤、青、緑
7	バインダー	2	レース記録用
8	ボールペン	4	レース記録用
9	マジックインキ	5	
10	双眼鏡	1	
11	赤糸	1	
12	単3電池	8	
13	マーク修理キット	2	２種３パック
14	風見	1	
15	CRC	1	

クリアボックス(小)…レース用旗　内容詳細は別紙　３　「フラッグ一覧」

ブルーコンテナー収納品

ブルーコンテナ(赤テープ)	アンカー(26m ロープ付) (岸用)パラシュートアンカー 予備ロープ 23M
ブルーコンテナ(緑テープ)	アンカー(40m ロープ付) (沖用)パラシュートアンカー 予備ロープ 20m
ブルーコンテナ(青テープ)	予備アンカー (リミット用)予備ロープ 131n2 本

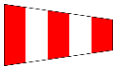
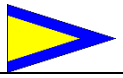
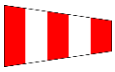
2.　信号旗ポール及び信号旗

＜4 本のポール（竿）を使う場合について＞以下具体例

1）　日の丸は本部船のマスト掲揚。

本部船のマスト	日の丸

2）ポール（竿）の両端に下記の旗を付けて準備すること（同時に使わない旗の組み合わせ）

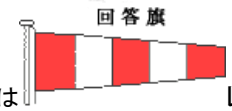
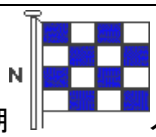
ポール（竿）	旗	旗
1本目	クラブ旗	L 旗 本部船近辺に集合せよ
2本目	P 旗 準備信号	X 旗 個別リコール
3本目	AP 旗 回答旗レース延期 	第一代表旗 ジェネラル・リコール 
4本目	S 旗 コース短縮	N 旗 レースの中止
	上記 4 本目と A 旗を合わせて すべてのレースを中止。 本日はこれ以上レースを行わない。	（N 旗、A 旗）
	上記3本目と A 旗を合わせて スタートしていないレースを延期。本日はこれ以上レースを行わない。	 （AP 旗、A 旗）

＜レース旗掲揚十字ポールを使う場合について＞

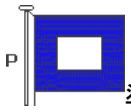
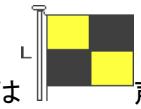
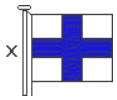
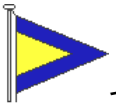
信号旗を着けやすいポールを用意する。

本部船に常備のポールや適当な長さの棹（ボードフック等）を用意すること。

1）　クラブ旗、日の丸、回答旗、N 旗は本部船のマスト掲揚。

本部船のマスト	日の丸又は  レースの延期  ノーレース

2）レース旗掲揚のポール（2 本以上は必要）。

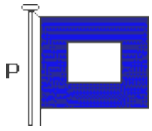
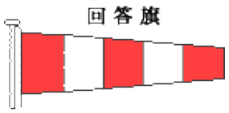
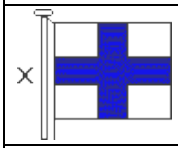
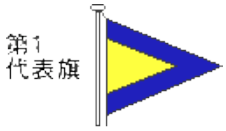
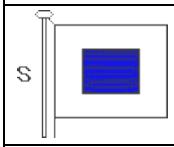
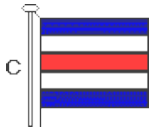
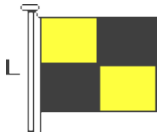
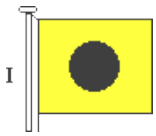
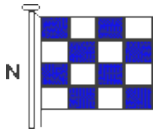
1 本目本部艇設置済	 準備信号又は  声の届く、又はついて来い
2 本目追加ポール、 ボードフック等で対応可	 リコール発生又は  ゼネラルリコール

C 旗、S 旗はスタート後スタートに使用したいずれかのポールもしくはマスト掲揚で対応可能です。

3. 格納状況

写真	説明
	ブルーコンテナ 赤、緑、青
	旗一式 クリアボックス（小）
	マークブイ 三角ブイ（HYC）
	運営艇：マストがないレスキュー艇の場合。 写真準備中。 運営艇：マストと１本ポールがある場合。 左記、十字ポールを使うことが出来る。
	備品 クリアボックス（大）に格納してある。

別紙3 「**レース運営準備＃2:フラッグ一覧**」

旗	説明
	葉山ヨットクラブ旗:Class flag、予告信号に使う Warning ↑*↓*
	P 旗：準備信号 Preparatory signal. ↑*↓—
	AP 旗：(回答旗) レースの延期 Races not started are postponed ↑**↓* AP: Answer Pennant
	X 旗：リコール発生 Individual recall ↑*
	第 1 代表旗：ゼネラルリコール General recall ↑**↓*
	S 旗：コース短縮 Sail in the Short course. ↑**
	C 旗：コース変更 Next mark has been Changed. -----
	L 旗：声の届く範囲に来い、又は我について来い Come within hail or follow this boat. ↑* Let's Together
	I 旗：準備信号。規則 30.1 が適用される Rule 30.1 is in effect. ↑*↓—
	N 旗：レースの中止 All races abandoned. ↑***↓* No Race
(↑↓)は上下、(*)は音響 1 声、(-----)は反復音響、(—)は長音を意味する	

（別紙４）葉山ヨットクラブ

NPO　HYC２０２３〇〇レガッタ

帆走指示書（2023 年〇月〇日）

［NP］の表記は、艇は、他艇の規則違反に対し抗議の根拠とはならないことを意味する。これは、規則 60.1(a)を変更している。

［DP］の表記は、その規則違反に対するペナルティーを、プロテスト委員会の裁量により失格より軽減することができることを意味する。

1 適用 規則

1.1 セーリング競技規則 2021-2024 以下 RRS）に定義された規則

1.2 葉山ヨットクラブレースレース運営マニュアル、ホームページ URL:https://hayamayc.jp/racecommitte.html

1.3 レース 公示

1.4 帆走指示書。 尚、公示と帆走指示書の間に矛盾が生じた場合は帆走指示書を優先させる。

2. 競技者とのコミュニケーション

2.1 公示、ホームページ URL:https://hayamayc.jp/racecommitte.html

2.2 艇長会議及び出艇申告　2023 年〇月〇日　9:00:クラブルームにて

2.3 運営本部:本部船携帯電話番号:(氏名):090-XXXX-YYYY

陸上本部（氏名):090-xxxx-yyyy

3. レースコース:ソーセージ

マーク回航は 反時計回り とする。

(スタートライン)・・・・(上マーク)・・・・・・(下マーク)・・・・・・(上マーク)・・・・・・(下マーク)・・・・・・(フィニッシュライン)

- ✧ 岸マーク(赤) と沖マーク(緑)間は約1.0～1.5海里を予定,
- ✧ スタート時のリミットマークは下マークと兼用、フィニッシュ時のリミットマークは上マークと兼用する。
- ✧ スタートライン解消後、本部船はフィニッシュラインに移動する。各艇はリミットマークと本部船の間をフィニッシュすること。

4. スタート時刻 ： 10 時 30 分

スタートラインの消滅 ： スタート信号後 10 分後にスタートラインは消滅する。

5. タイムリミット： スタート信号後 3 時間 30 分とする。

6. 抗議(審問要求):抗議の締め切りは最終艇のフィニッシュから60分とする。所定の抗議書は抗議締切時間内にコミッティーに提出されなければならない。抗議に関する審問及び裁定はプロテスト委員会が行う。

7. ペナルティー方式:RRS第2章以外の規則違反については、失格に代わる罰則を以下のように定める。

7.1 ソーセージコースの場合

個別リコールを定められた方法で解消しなかった艇については、記録はOCSとし、参加艇数プラス 1 点の得点ペナルティを課す。(RRS A4の変更)

7.2 浮標・烏帽子廻航コースの場合

個別リコールを定められた方法で解消しなかった艇については、記録はOCSとし、所要時間の 5%のタイムペナルティを課す。(RRS A4の変更)

8. 表彰:修正時間により1位～3位、ラッキーセブン賞、ブービー賞及び着順 1 位を表彰する。

表彰式を実施する場合は、管理事務所3階にて行う　　会費 1,000 円/人。

9. 氏名と肖像権の使用権

参加者は無償で NPO 葉山ヨットクラブに陸上又は海上で撮影されたレースに関する写真、音声、録画、及びそれらの複製品、並びに成績等の氏名を、その裁量で永久に作成、使用、公開する権利を自動的に与える。

10. ［DP］安全なレース

レース艇は釣り舟等、投錨中の船の 5 艇身以内に近づいてはならない。

又釣舟等の多い海面においてはバウウオッチを置き充分な監視を行うこと。

レースに出場する艇の全乗員はライフジャケットを常時着用とする。(本レースは、JSAF が規定する外洋特別規則を適用したレースではありません。JSAF 登録艇の如何に関わらず、全乗員が(認証・桜マーク)付ライフジャケットを使用すること。)

レース中は、レース旗を掲げること。

11. フラグ及び信号

時間、信号	動き	旗の状態
５分前 音響信号１声	クラブ旗（予告信号）掲揚	
４分前 音響信号１声	Ｐ旗（準備信号）掲揚	
１分前 長音信号１声	Ｐ旗（準備信号）降下	
スタート 音響信号1声	クラブ旗　降下	（なし）
レース延期信号 音響信号２声	AP旗　掲揚	音響信号１声と降下の１分後に予告信号
個別リコール 音響信号１声	X旗 掲揚	
ジェネラル・リコール 音響信号２声	第一代表旗掲揚	音響信号１声と降下の１分後に予告信号
信号旗：	コース短縮：本部船か監視船に Ｓ旗（音響信号２声）Ｓ旗の上がった艇（ポール）とその近くのマークの間でフィニッシュ	コース変更：本部船か監視船に C旗（反復音響信号） 新コースは音声により指示する
信号旗：	レースの中止 Ｎ旗（音響信号３声）　掲揚	本部船近辺に集合せよ Ｌ旗　（音響信号１声）掲揚
すべてのレースを中止。本日はこれ以上レースを行わない。	N旗、A旗 （音響信号３声）	
スタートしていないレースを延期。本日はこれ以上レースを行わない。	（AP旗、A旗） （音響信号２声）	

（別紙４-B）葉山ヨットクラブ

NPO　HYC２０２３鯉のぼりレガッタ（烏帽子岩回航）

帆走指示書（2023 年 5 月 21 日）

［NP］の表記は、艇は、他艇の規則違反に対し抗議の根拠とはならないことを意味する。これは、規則 60.1(a)を変更している。

［DP］の表記は、その規則違反に対するペナルティーを、プロテスト委員会の裁量により失格より軽減することができることを意味する。

1 適用 規則

1.1 セーリング競技規則 2021-2024 以下 RRS）に定義された規則

1.2 葉山ヨットクラブレースレース運営マニュアル、ホームページ URL:https://hayamayc.jp/racecommitte.html

1.3 レース 公示

1.4 帆走指示書。 尚、公示と帆走指示書の間に矛盾が生じた場合は帆走指示書を優先させる。

2. 競技者とのコミュニケーション

2.1 公示、ホームページ URL:https://hayamayc.jp/racecommitte.html

2.2 艇長会議及び出艇申告　2023 年○月○日　8:30:クラブルームにて

2.3 運営本部:本部船携帯電話番号:(氏名):090-XXXX-YYYY

陸上本部（氏名):090-xxxx-yyyy

3. レースコース:烏帽子岩回航

(スタートライン)・・・・烏帽子岩回航時右回り・・・・・・(フィニッシュライン),

- ✧ スタート時のリミットマークはフィニッシュ時のリミットマークと兼用する。
- ✧ スタートライン解消後、本部船は烏帽子岩に移動する。
- ✧ フィニッシュラインは本部船とリミットマークを結んだラインとする。
- ✧ コース短縮の場合は、烏帽子岩南側の本部船を移動し、本部船を左側に見て,烏帽子岩頂部を結んだラインをフィニッシュする。

4. スタート時刻 ： 10 時 00 分

スタートラインの消滅 ： スタート信号後 10 分後にスタートラインは消滅する。

5. タイムリミット: スタート信号後 3 時間 30 分とする。

6. 抗議(審問要求):抗議の締め切りは最終艇のフィニッシュから60分とする。所定の抗議書は抗議締切時間内にコミッティーに提出されなければならない。抗議に関する審問及び裁定はプロテスト委員会が行う。

7. ペナルティー方式:RRS第2章以外の規則違反については、失格に代わる罰則を以下のように定める。

7.1 ソーセージコースの場合

個別リコールを定められた方法で解消しなかった艇については、記録はOCSとし、参加艇数プラス1点の得点ペナルティを課す。(RRS A4の変更)

7.2 浮標・烏帽子廻航コースの場合

個別リコールを定められた方法で解消しなかった艇については、記録はOCSとし、所要時間の 5%のタイムペナルティを課す。(RRS A4の変更)

8. 表彰:修正時間により1位～3位、ラッキーセブン賞、ブービー賞及び着順 1 位を表彰する。

表彰式を実施する場合は、管理事務所3階にて行う　　会費 1,000 円/人。

9. 氏名と肖像権の使用権

参加者は無償で NPO 葉山ヨットクラブに陸上又は海上で撮影されたレースに関する写真、音声、録画、及びそれらの複製品、並びに成績等の氏名を、その裁量で永久に作成、使用、公開する権利を自動的に与える。

10. ［DP］安全なレース

レース艇は釣り舟等、投錨中の船の 5 艇身以内に近づいてはならない。

又釣舟等の多い海面においてはバウウオッチを置き充分な監視を行うこと。

レースに出場する艇の全乗員はライフジャケットを常時着用とする。(本レースは、JSAF が規定する外洋特別規則を適用したレースではありません。JSAF 登録艇の如何に関わらず、全乗員が(認証・桜マーク)付ライフジャケットを使用すること。)

レース中は、レース旗を掲げること。

11. フラグ及び信号

時間、信号	動き	旗の状態
５分前 音響信号１声	クラブ旗（予告信号）掲揚	
４分前 音響信号１声	Ｐ旗（準備信号）掲揚	
１分前 長音信号１声	Ｐ旗（準備信号）降下	
スタート 音響信号1声	クラブ旗　降下	（なし）
レース延期信号 音響信号２声	ＡＰ旗　掲揚	音響信号１声と降下の１分後に予告信号
個別リコール 音響信号１声	X旗 掲揚	
ジェネラル・リコール 音響信号２声	第一代表旗掲揚	音響信号１声と降下の１分後に予告信号
信号旗：	コース短縮：本部船か監視船に Ｓ旗（音響信号２声）Ｓ旗の上がった艇（ポール）とその近くのマークの間でフィニッシュ	コース変更：本部船か監視船に C旗（反復音響信号） 新コースは音声により指示する
信号旗：	レースの中止 Ｎ旗（音響信号３声）　掲揚	本部船近辺に集合せよ Ｌ旗　（音響信号１声）掲揚
すべてのレースを中止。本日はこれ以上レースを行わない。	（N 旗、A 旗） （音響信号３声）	
スタートしていないレースを延期。本日はこれ以上レースを行わない。	（AP 旗、A 旗） （音響信号２声）	

（別紙４-C）葉山ヨットクラブ

NPO　HYC２０２３〇〇〇レガッタ（小網代沖浮標回航）

帆走指示書（2023 年〇月〇日）

［NP］の表記は、艇は、他艇の規則違反に対し抗議の根拠とはならないことを意味する。これは、規則 60.1(a)を変更している。

［DP］の表記は、その規則違反に対するペナルティーを、プロテスト委員会の裁量により失格より軽減することができることを意味する。

1 適用 規則

1.1 セーリング競技規則 2021-2024 以下 RRS）に定義された規則

1.2 葉山ヨットクラブレースレース運営マニュアル、ホームページ URL:https://hayamayc.jp/racecommitte.html

1.3 レース 公示

1.4 帆走指示書。 尚、公示と帆走指示書の間に矛盾が生じた場合は帆走指示書を優先させる。

2. 競技者とのコミュニケーション

2.1 公示、ホームページ URL:https://hayamayc.jp/racecommitte.html

2.2 艇長会議及び出艇申告　2023 年〇月〇日　8:30:クラブルームにて

2.3 運営本部:本部船携帯電話番号:(氏名):090-XXXX-YYYY

陸上本部（氏名):090-xxxx-yyyy

3. レースコース:小網代沖浮標廻航

(スタートライン)････小網代沖浮標反時計回り……(フィニッシュライン),

✧　(スタートライン)　本部船とリミットマークの間。

✧　(フィニッシュライン)　本部船とリミットマークの間。

✧　コース短縮の場合は小網代沖浮標とS旗を掲揚した本部船の間とする。

4. スタート時刻 ： 10 時 00 分

スタートラインの消滅 ： スタート信号後 10 分後にスタートラインは消滅する。

5. タイムリミット: スタート信号後 3 時間 30 分とする。

6. 抗議(審問要求):抗議の締め切りは最終艇のフィニッシュから60分とする。所定の抗議書は抗議締切時間内にコミッティーに提出されなければならない。抗議に関する審問及び裁定はプロテスト委員会が行う。

7. ペナルティー方式:RRS第2章以外の規則違反については、失格に代わる罰則を以下のように定める。

7.1 ソーセージコースの場合

個別リコールを定められた方法で解消しなかった艇については、記録はOCSとし、参加艇数プラス 1 点の得点ペナルティを課す。(RRS A4の変更)

7.2 浮標･烏帽子廻航コースの場合

個別リコールを定められた方法で解消しなかった艇については、記録はOCSとし、所要時間の 5%のタイムペナルティを課す。(RRS A4の変更)

8. 表彰:修正時間により1位～3位、ラッキーセブン賞、ブービー賞及び着順 1 位を表彰する。

表彰式を実施する場合は、管理事務所3階にて行う　　会費 1,000 円/人。

9. 氏名と肖像権の使用権

参加者は無償で NPO 葉山ヨットクラブに陸上又は海上で撮影されたレースに関する写真、音声、録画、及びそれらの複製品、並びに成績等の氏名を、その裁量で永久に作成、使用、公開する権利を自動的に与える。

10. ［DP］安全なレース

レース艇は釣り舟等、投錨中の船の 5 艇身以内に近づいてはならない。

又釣舟等の多い海面においてはバウウォッチを置き充分な監視を行うこと。

レースに出場する艇の全乗員はライフジャケットを常時着用とする。(本レースは、JSAF が規定する外洋特別規則を適用したレースではありません。JSAF 登録艇の如何に関わらず、全乗員が(認証･桜マーク)付ライフジャケットを使用すること。)

レース中は、レース旗を掲げること。

11. フラグ及び信号

時間、信号	動き	旗の状態
５分前 音響信号１声	クラブ旗（予告信号）掲揚	
４分前 音響信号１声	Ｐ旗（準備信号）掲揚	
１分前 長音信号１声	Ｐ旗（準備信号）降下	
スタート 音響信号1声	クラブ旗　降下	（なし）
レース延期信号 音響信号２声	ＡＰ旗　掲揚	音響信号１声と降下の１分後に予告信号
個別リコール 音響信号１声	X旗 掲揚	
ジェネラル・リコール 音響信号２声	第一代表旗掲揚	音響信号１声と降下の１分後に予告信号
信号旗：	コース短縮：本部船か監視船に Ｓ旗（音響信号２声）Ｓ旗の上がった艇（ポール）とその近くのマークの間でフィニッシュ	コース変更：本部船か監視船に C旗（反復音響信号） 新コースは音声により指示する
信号旗：	レースの中止 Ｎ旗（音響信号３声）　掲揚	本部船近辺に集合せよ Ｌ旗　（音響信号１声）掲揚
すべてのレースを中止。本日はこれ以上レースを行わない。	（N 旗、A 旗） （音響信号３声）	
スタートしていないレースを延期。本日はこれ以上レースを行わない。	（AP 旗、A 旗） （音響信号２声）	

2023年NPO葉山ヨットクラブ　レース 公示　vr230428

NPO法人　葉山ヨットクラブ
レース委員長　犬飼一通

[NP]の表記は、艇は、他艇の規則違反に対し、抗議の根拠とはならないことを意味する。これは、規則60.1(a)を変更している。
[DP]の表記は、その規則違反に対するペナルティーを、プロテスト委員会の裁量により失格より軽減することができることを意味する。

１．主　催：NPO葉山ヨットクラブ
２．運　営：NPO葉山ヨットクラブ　レース委員会
３．コース：各レースのコースは、帆走指示書により通達される。
４．開催日：サイトURL　https://hayamayc.jp/clubrace.html
５．[NP][DP] 参加 資格 および申込み：
5.1.参加資格
① 葉山ヨットクラブ所属艇であること。
但し、葉山ヨットクラブ所属艇からの紹介艇は参加を認める。
② 日本小型船舶検査機構による有効な船舶検査証を有する艇。
③ レース期間中有効な損害保険（クラブレースを担保するもの。賠償保険の加入は必須。搭乗者保険、捜索救助保険の加入を推奨する）を有する艇。
④ 連絡手段として2台以上の携帯電話を持つこと。携帯電話はウォータープルーフバッグで保護すること。
5.2.参加申し込み
①葉山ヨットクラブ所属艇は当日艇長会議に出席して参加となる。
②紹介艇は予め連絡承認の上、当日艇長会議に出席して参加となる。
６．適用規則：
① 本ヨットレースのための公示（本文書）、帆走指示書ならびに安全対策要綱
② 海上衝突防法が適用される。
③ セーリング競技規則(RRS)2021～2024版
④JSAF外洋レース規則　2009
７．リスク・ステートメント：責任の所在
RRS 3には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇にのみある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なの

は、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。

葉山ヨットクラブは、レースの前後、レース中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

８．帆走指示書：帆走指示書は、当日艇長会議で開示する。

９．参加料：

① 葉山ヨットクラブ 賛助会員艇1 艇3,000 円、非賛助会員艇1 艇4,000 円。

② レースが中止となった場合でも、参加料の返金は行わない。

１０．参加申込：

当日、艇長会議出席し、参加料を支払うことで参加とする。

連絡先メールアドレス：ponton@firstmarine.co.jp（犬飼一道）

参加料振込の場合： みずほ銀行湘南台支店（普）1078991

【口座名】特定非営利活動法人葉山ヨットクラブ

１１.[NP] [DP]当日のチェックインおよび艇長会議（葉山港管理事務所2Fクラブルーム）

参加艇の代表者は必ず当日の出艇前にチェックインを行うこと。

チェックインを行っていない艇は裁量ペナルティーの対象となる場合がある。

① チェックイン：開催日程に記載（受付及び参加料支払い）

② 艇長会議：開催日程に記載

１２．レース開催の見合わせ規準：

① レース当日、風速15 m/s 以上、視程1.5 km 以下となった場合等においては、各気象情報等を参考の上、開催の見合わせをレース委員会で検討する。

② レースの安全な運営に支障をきたす気象・海象及び社会的行動規制等が発令された場合は、これに限らず慎重に協議し、実施の可否を検討する。

１３．表彰式：

表彰式並びにパーティーを開催する。

但し、新型コロナウィルス感染拡大防止の観点から開催しない場合がある。

１４．表彰･順位賞：

葉山ヨットクラブレース委員会の定めるTCF による修正順位の1～3位

ならびにファーストホーム艇を表彰の対象とする。

レース結果は迅速に発表し、葉山ヨットクラブホームページに掲載する。

１５．運営と各種問合せ先：

レース委員長：犬飼 一通 ponton@firstmarine.co.jp

１６. プロテスト：

抗議の締め切りは最終艇のフィニッシュから 60 分とする。所定の抗議書（審問要求書）は抗議締切時間内に実行委員会に提出されなければならない。抗議に関する審問及び裁定はプロテスト委員会が行う。

１７. ペナルティ方式：

帆走指示書に規定する。

１８. 新型コロナウィルス感染対策に関する重要なお知らせ：

参加艇はレース当日朝の乗組員全員の体温を確認すること。確認結果は艇長会議で報告を求める。当日体温が37.5度以上有る方は参加できません。

なお、新型コロナウィルス感染拡大の状況によっては大会の開催を見送る場合がある。

２０.開催日程：https://hayamayc.jp/clubrace.html

回	開催日	レース名	ﾚｰﾃｨﾝｸﾞ方式	コース	艇長会議	スタート時刻
1	2023/1/15	新春レガッタ	G1	ソーセージ	9:00	10:30
2	2023/3/12	ひな祭りレガッタ	変動	ソーセージ	9:00	10:30
3	2023/4/16	お花見レガッタ	変動	ソーセージ	9:00	10:30
4	2023/5/21	鯉のぼりレガッタ	G1	烏帽子岩回航	8:30	10:00
5	2023/6/4	初鰹レガッタ	G1	ショート2回	8:30	10:00
6	2023/7/2	新港開港レガッタ	変動	ソーセージ	8:30	10:00
7	2023/8/27	かぐや姫レガッタ	変動	ソーセージ	9:00	10:30
8	2023/10/1	体育の日レガッタ（葉山ﾏﾘｰﾅｶｯﾌﾟ・ﾌﾚﾝﾄﾞｼｯﾌﾟ）	G1	小網代沖浮標回航	9:00	10:30
9	2023/11/5	文化の日レガッタ	変動	ソーセージ	9:00	10:30
10	2023/12/3	忘年レガッタ	変動	ソーセージ	9:00	10:30

以上

別紙8

表　彰　状

優　　勝

XXXX　殿

貴艇はnpo法人葉山ヨットクラブ２０２２年
XXXXXXレガッタに於いて頭書の成績を納め
ましたので、栄誉をたたえ、ここに表彰します

令和4年XX月XX日

npo法人葉山ヨットクラブ

会　長　　石　原　伸　晃

レース委員長　犬　飼　一　通

別紙９成績計算について

１．クラブレースのTCF

（1）ショートコースのレース（G1 レース以外のレース）

① 対象レガッタ

ひな祭りレガッタ、お花見レガッタ、新港開港記念レガッタ、かぐや姫レガッタ、文化の日レガッタ、忘年会レガッタ

① 独自の変動TCF 方式（過去成績の移動平均方式）

（2）G1 レース

① 対象レガッタ

新春レガッタ、鯉のぼりレガッタ（烏帽子岩廻航）、初鰹（２レース）、体育の日レガッタ（小網代浮標回航）、葉山・初島ヨットレース（初島回航）、

② ORC ベース固定TCF 方式

２．成績

（1）各レース

① 所要時間にTCF を乗じた修正所要時間で修正着順により順位を決める

② 修正時間が秒の位にて同じ場合はTCF の低い方を上位にする。

③ 一日２レースある場合は、各レースの順位を得点とし、合計得点の低い方を上位とする。
合計得点が同一の場合はTCF の低い方を上位にする。

④ ソーセージコースの場合、個別リコールを定められた方法で解消しなかった艇についてはOCS とする。

⑤ 廻航コースの場合、個別リコールを定められた方法で解消しなかった艇については、所要時間に5%のタイムペナルティを課す（OCS も記録される）。

（2）シリーズ集計

① 各レースの順位を得点とし、年間レースの合計得点の低い方を上位とする。

② コミッティを担当した艇でそのレースに参加しなかった場合、その艇の年間平均点と、当該レース参加艇数を半分にした数字の低い方を、当該レースの点数として扱う。

③ 各レースで点数が付かない（ソーセージコースでのOCS やDNC などの）場合、また不参加の場合は、年間レース中で最大参加艇数に１を足した数字を点数とする。

④ １レースを捨てレースとして集計する。

⑤ 複数艇でタイが生じた場合は、セーリング競技規則2021-2024　付則A8 に従う

３．表彰

（1） 各レース

① １，２，３位、及びファーストホームを表彰する

② 7位、ブービー賞を設ける

（2） シリーズ

① 年間１，２，３位、最多ファーストホームを表彰する

② 皆勤賞を設ける

審問要求書及びその他プロテスト委員会処置の要求書

受理日付 日：　　時：	抗議締切時刻	受付番号

1. レース日時：	シリーズ:	レース番号:

2. 審問の種類

☐ 抗議 – (1 艇もしくはそれ以上の艇の規則違反の申立て)
☐ 救済要求
☐ 審問の再開要求 (規則 66 or N1.4(b))
☐ 裁量ペナルティの報告 (規則 64.6)
☐ 支援者に関する報告
☐ 不正行為の報告 (規則 69)

3. 発議者の詳細—抗議者, 申立て, 要求または報告を行おうとするもの

クラス/フリート/チーム	セイル番号/艇名:	又は	委員会:

代表者:	氏名:	電話番号:

4. 被申立人 – 被抗議者, 委員会に対する救済, 支援者, 不正行為の関係者

クラス/フリート又は委員会	セイル No/　艇　名　/人物名	電話番号 (既知であれば)

5. 被抗議者への通告 – 抗議しようとする場合, 抗議の意思をどのように伝えましたか?

声をかけることにより:　☐ No　☐ Yes
赤色旗の掲揚:　☐ 不要　☐ No　☐ Yes
その他の方法により:　☐ No　☐ Yes

6. インシデント　いつ　どこで?	**図　(もし関連あれば): 風と潮流**
適用規則:	**証言者　氏名:**
取下要求:	**申出承認:**

もし必要があれば本書式の裏面もしくは他の用紙に記入.

プロテスト委員会の決定　ケース No:　　同時審問ケース ＮＯ：　レース:

当事者

艇 又は委員会又は人物	クラス/フリート	代表者/　欠席

証言者	
氏名	艇 – 委員会 – 役割

有効性 – Yes/No *(もし No であれば認定された事実欄にこのことを記入)*

ケースの概略: *(審問の種類と短文によるケースの概略　例えば下マークにおけるインシデント又は0 C Sと記録されたことへの救済要求)*

手続き上の問題: *(利害関係, 当事者欠席, 締切時間の延期など)*

認定された事実:

結論と適用規則:

判決:

プロテスト委員会:

署名:　　***日時：***

別紙 11 レースコース参考図

１． コース設定手順

風の振れとコース設定方法

①マーク（上マーク）　設定時　5 分間程度風を読み

　風軸を確定　メモする　風軸　N°とする

②マーク（下マーク）N°＋-180°方向へ 1.5 マイル移動

②マーク想定位置で風軸を確認

①マークとは違う可能性が高いので

②マークの位置はある程度振れ等のバイアスをかけても良い

ただし、スタートラインは②マーク付近の風で、

できるだけスクエアに設定する（ここには将来の振れは織り込まない）

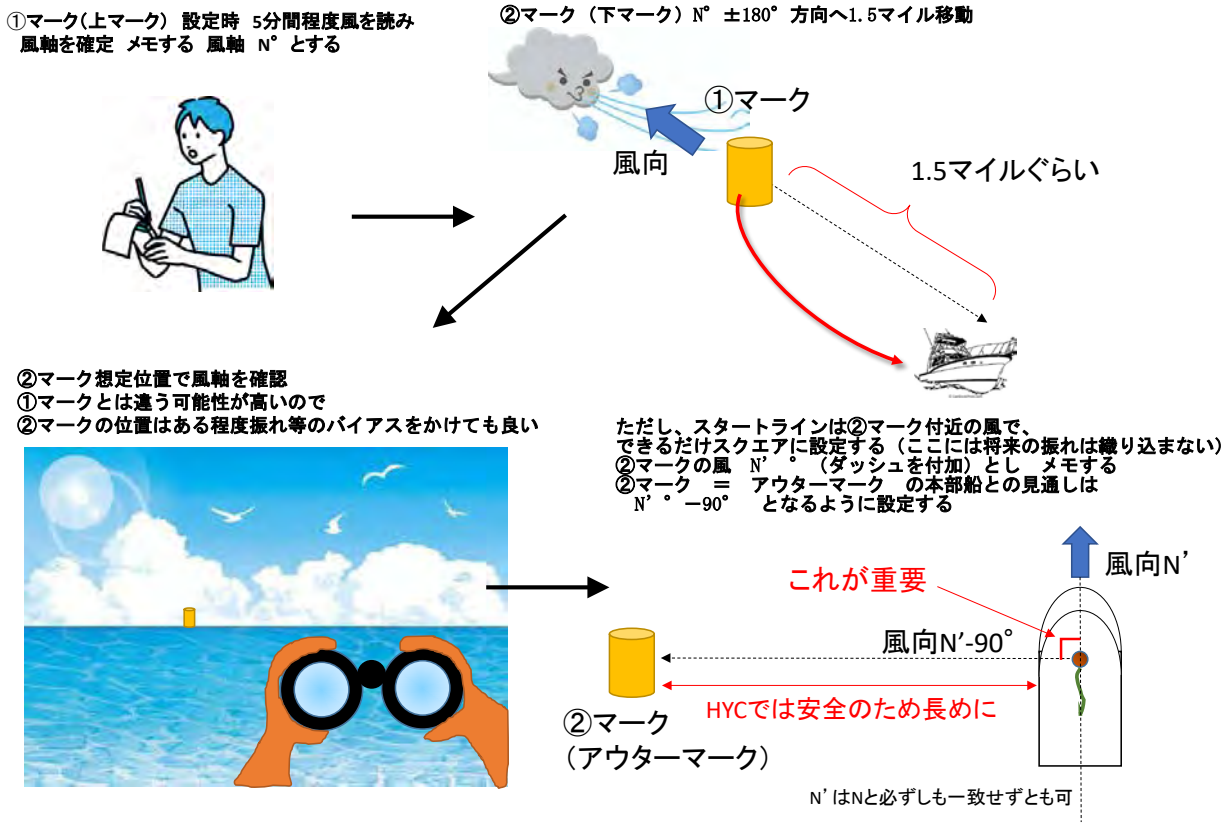
②マークの風　N°’　（ダッシュを付加）とし　メモする

②マーク　＝　アウターマーク　の本部船との見通しは

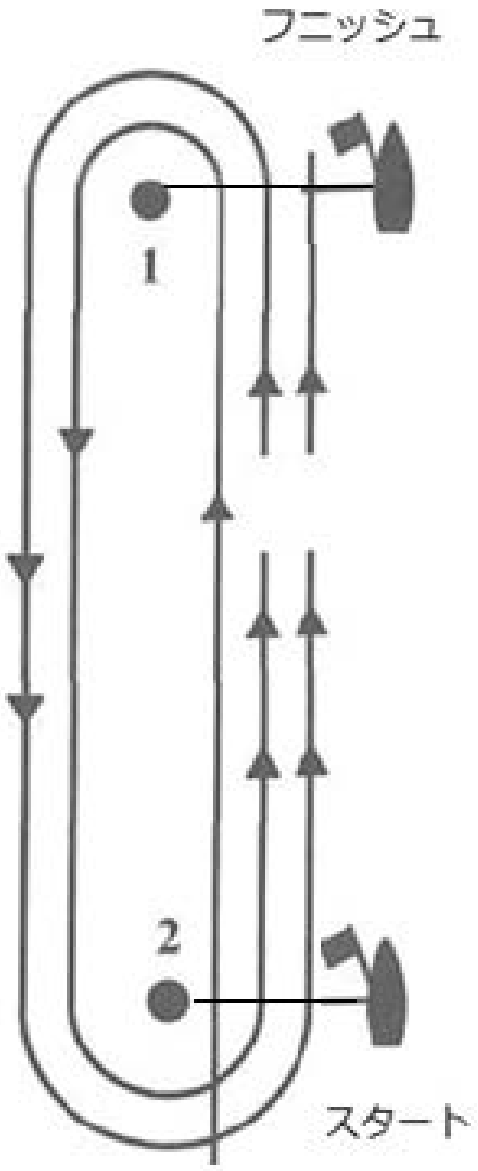
　N°’　−90°　となるように設定する

スタート前に大きく振れた場合は、躊躇なくＡＰ旗を上げ②マーク　並びにスタートラインを打ち直す

２．コース参考図



ソーセージコース（上―下コース）
スタート　―　１　―　２　―　１　―　２　―　１　フィニッシュ



風上マークはフィニッシュ時のリミットマークとなる。
風下マークはスタート時のリミットマークを使う。
本部船はフィニッシュ時までにフィニッシュラインへ移動する。